

事業名	身体障害者援助費			調査番号	72
細事業名	障害者技能競技大会事業費	財務コード	107301		
担当部課室	産業労働 部 産業人材育成 課 技能振興 担当 (内線)	4854			

事業の概要

実施期間	始期 S56 年度 ~ 終期 年度
実施主体	県(直営)
目的	だれ(何)を対象に 15歳以上で、県内に在住または県内の企業等に所属している障害者 その対象をどのような状態にして 一般公開される競技大会で、技術を競い合うことで、障害者の職業能力が向上し、社会的地位が高まっている 結果、何に結びつけるのか 障害者雇用の啓発と促進
内容	・山梨県障害者技能競技大会の開催 障害者が日頃培った職業技能を競い合う競技大会を独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構山梨支部との共催で開催している。この大会で優秀な成績を修めた者は翌年度以降の全国障害者技能競技大会への推薦対象となる。 平成27年度募集競技種目(全国大会に対応していない山梨県独自の競技種目2種目を除く): ワード・プロセッサ、表計算、喫茶サービス、オフィスアシスタント、ビルクリーニング、機械CAD、建築CAD、木工、パソコン操作、データ入力 より多くの職種での障害者雇用の促進につなげるため、平成27年度山梨県大会からビルクリーニング、機械CAD、建築CAD、木工の4種目を追加。

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
活動指標	山梨県障害者技能競技大会実施競技種目数(単位:種目)	目標 5	6	6	6	10	10	11
		実績(見込) 5	6	6	5	6	10	
		達成率 100.0	100.0	100.0	83.3	60.0		
		達成区分 b	b	b	b	c		
成果指標	全国障害者技能競技大会参加者のうち入賞した者の割合(単位:パーセント)	目標 -	50.0	50.0	50.0	-	50.0	50.0
		実績(見込) -	40.0	0.0	66.7	-	50.0	
		達成率 -	80.0	0.0	133.4	-		
		達成区分 -	b	d	a	-		
決算(予算) 単位:千円		36	72	124	87	55	284	251

事業の評価(平成27年度の業績評価)

活動指標	C	評価	平成27年度から募集する競技を4種目増やした。このため大会の参加者が増え、過去5年間の大会では最も参加者が多くなっている。しかし、種目の増加に伴い、参加者の不足により実施ができなかった種目が増えたため、活動指標の達成率は減少している。
成果指標	-		平成27年度は国際大会の開催年のため、全国大会を開催していない。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input type="checkbox"/> 必要性が高い	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明	山梨県大会で実施していない競技種目を追加して実施することにより、当該種目に関連した職種への雇用につなげることが可能。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ( )		
その他	説明			
見直しの必要性	有	平成28年度の全国大会で募集している競技種目は22種目あるが、山梨県大会の競技種目はそのうち10種目に留まっている。競技参加者の拡大及びその技術向上のため、またより多くの職種での障害者の雇用を拡大していくため、競技種目を拡大していく必要がある。また、10種目のうち4種目については、参加者の不足により競技が実施できなかったため、競技種目の定員を充足されるために、周知を強化していく必要がある。		

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	既存の障害者団体に加えて、競技に関係する団体にも大会の案内を送付し、周知することで、実施競技種目の拡大を図る。
----------	----	---------------------------------------------------------

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。